生活の工夫カード（3）

放射線治療中の服装

□ 患者さんが感じる不便さには

「治療のための印で下着が汚れる」

「治療のための印が見えない服しか着られない」

「放射線があたった皮膚がヒリヒリする」

などがあります

□ 原因と対処方法

放射線治療では、正しい位置に正しい線量があたることが重要となります。印は、治療時の位置合わせに大変重要な役割を果たします。治療期間中は、印が消えないように注意して過ごす必要があります。

放射線は、がんにあてて治療するとき、皮膚を通りぬけます。そのため、放射線をあてた部位の皮膚が日焼けした時のように赤くなったり、かゆくなったりすることがあります。放射線をあてている部位の皮膚は、**刺激しない**ことが大切です。

□ 生活の工夫

・治療のための印（マーキング）は大切に！

消さないように気を付けましょう。

治療中は汚れてもいい衣類を使用しましょう。

下着は、白地のものより黒地のものを選択すると、印の色移りが目立ちません。

・首のあたりに放射線をあてている場合

服の襟で皮膚がこすれやすいので、襟のない服にしたり、柔らかいスカーフなどで襟元を保護するとよいでしょう。

・放射線をあてている部位を圧迫しない

ゆったりした服や下着を選びましょう。

柔らかく、肌ざわりのよい素材がよいでしょう。

・陰部のあたりに放射線をあてている場合

下着による圧迫やこすれを避けるために、大きめの下着をゆったり着用しましょう。
ジーンズなどの硬い素材が当たるのも避けた方がよいでしょう。

国立がん研究センター中央病院看護部　2025.5